

村上岩船定住自立圏共生ビジョン審議会 議事録

会議名	第2回 村上岩船定住自立圏共生ビジョン審議会		
年月日	令和6年3月8日(金) 15:30~16:53		
会場	村上市生涯学習推進センター 大・中会議室		
出席者	<p>【委員】</p> <p>北新潟農業協同組合にいがた岩船本部 関川村商工会女性部 越後村上物産会 村上市消防団 いわふね森林組合 村上市民生委員児童委員協議会連合会 村上地域グリーン・ツーリズム協議会 新潟県村上地域振興局健康福祉部 粟島郵便局 村上市図書館協議会 NPO法人都岐沙羅パートナーズセンター</p> <p>【村上市】</p> <p>村上市 企画戦略課 企画戦略課 企画戦略課 企画政策室 企画戦略課 企画政策室 企画戦略課 企画政策室 企画戦略課 企画政策室 企画戦略課 企画政策室</p> <p>【関川村】</p> <p>地域政策課 地域振興班</p> <p>【粟島浦村】</p> <p>総務課</p>	<p>本部長 副部長 事務局次長 団 長 代表理事組合長 副会長 事務局長 部 長 局 長 会 長 理 事</p> <p>政策監 課 長 参 事 課長補佐 副参事 主 査 主 査 主 査</p> <p>主 幹</p> <p>主 任</p>	<p>瀬賀 一幸 伊藤真由美 大滝 香織 大竹 憲一 小田 幸男 海沼 順一 鈴木 信之 園田 裕久 戸田 貢 山口又一郎 渡辺ひろみ</p> <p>須賀 光利 大滝 敏文 山田美和子 忠 康博 本間 陽子 中山 幸代 渡辺 真吾 山田 浩介</p> <p>渡辺 輝章</p> <p>松崎 香織</p>
[進行] 事務局	1. 開会 〈あいさつ〉		
鈴木会長 (以下、会長)	2. 挨拶 〈会長あいさつ〉		
事務局	これより、村上岩船定住自立圏共生ビジョン審議会条例第6条第1項の規定により会長が議長となります。それでは会長よろしくお願ひいたします。		
会長	それでは3. 報告に入ります。報告「村上岩船定住自立圏推進協議会 会議要旨」について事務局より説明をいただいた後、皆様から質問をいただきたいと思ひます。それでは事務局より説明をお願ひします。		

事務局	3. 報告（１）村上岩船定住自立圏推進協議会会議要旨 (事務局が資料を説明)
会長	ただいま説明がありましたが、皆様から何かご質問やご意見はありますでしょうか。私の方から一つ、粟島浦村のアプリの活用で島内外の方とつながっているとのことですが、どのようなアプリですか。
事務局	「しらせあい」というアプリで、このアプリをスマートフォンにダウンロードすると、島内の様々な情報を知ることができます。島内の方だけでなく島外の方でもアプリを取得された方は、粟島浦村の出来事や情報を知ることができます。粟島汽船の運行情報も知ることができます。また、このアプリはマイナンバーカードと今後紐づけされ、アプリをかざすと乗船できるようになります。
事務局	併せまして、村上市でのLINEアプリについてもご説明させていただきます。コロナ禍に、村上市を離れた学生に向けて応援便を発送する取組の中で、学生達とLINEで繋がるLINEアプリがあります。公式LINEとは別のLINEアプリです。現段階で配信者数が358人で、約400人弱の若い市外の方とLINEで繋がっているとのこと。村上市と縁の深い関係人口ということで、今後このアプリを利用して、就職情報や今後のUターン・Iターンに繋がるような情報発信ができればと考えています。
会長	粟島浦村の「しらせあい」も村上市のLINEアプリも、相手から返信することも可能ですか。
事務局	村上市の方は双方向可能です。
事務局	粟島浦村の「しらせあい」については情報発信のみで一方通行です。「しらせあい」アプリの中のメニューからメールやSNSなどに繋がります。防災関係も見ることができます。
会長	このほかに皆さんから何かございますか。なければ次に進みます。
会長	4. 議事 4. 議事に入ります。議事（１）令和5年度取組実績（見込）及び令和6年度取組内容（案）について事務局からの説明後、皆様から質問をいただきたいと思えます。それでは事務局より説明をお願いします。
事務局	（１）令和5年度取組実績（見込）及び令和6年度取組内容（案）【資料1・2】 (事務局が資料を説明)
会長	それでは今説明いただいた点について皆さんの方からご質問、意見等ございましたら、よろしくお願ひいたします。

委員	<p>今朝、朝日地区で火災がありました。まだまだ火災に対して住民の認識が不足しているように感じます。今年からは元日から地震があるなど地域の防災について、来年度取り組んでいくことを計画に加えていただきたいと思います。また、一昨年の水害時では小岩内の方と我々消防団が協力し、誰1人死者を出すことがなかった水害でしたので、隣組の防災を強化する取組をしていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>ご意見ありがとうございます。防災に関してですが、資料2の9ページの(6)消防・防災①常備消防推進に広域消防事業と地域防災力の向上の二つの連携事業の項目を挙げております。</p> <p>23 防災士養成事業につきましては、毎年防災士の養成講座を開催しており、防災士の認証登録も毎年着実に進めています。</p> <p>また、災害対応とは異なるかもしれませんが、22 広域消防事業では来年度救急自動車とそれに伴う資機材の更新を予定しており、予算計上しています。併せて避難の困難なお年寄りや障害をお持ちの方一人一人に合わせた避難計画、個別計画も順調に策定が進められていますので、今後も防災力の向上に努めていきたいと考えております。</p>
事務局	<p>補足ですが、先ほど委員からお話のあった隣組の防災力、あるいはきずな、繋がりが向上する取組についてですが、村上市単独の取組であり、定住自立圏の取組と少し異なりますが、小岩内で死亡者が出なかったことで非常に集落の地域力が注目されています。先日、新潟デザイン専門学校と村上市が協定を結びまして、小岩内の奇跡と呼んでいます。そのお話を絵本にしてお子さんから大人まで災害の記憶を風化させないよう伝えていく取組を来年度実施いたします。</p>
会長	<p>防災士養成講座を毎年開催しており、今年度実績が315人になるようです。どのような年代の方が防災士になっているのでしょうか。また、防災士になっても、年配の方もいるのでしょうか。</p>
事務局	<p>私ども事務局で年代の把握はしていないのですが、私の知人で同じ町内の方が、防災士の講座を受けて資格を取得したと言っていました。その方は65歳です。65歳と言っても、現在は長寿命化が進んでおり、これからがスタートだと考えています。そのため、その資格を十分に活用していただけることを期待しています。</p>
委員	<p>教育分野の理科センター、ことばとこころの相談室、図書館、視聴覚ライブラリーの4事業の栗島浦村の利用実績についてですが、ことばとこころの相談室は相談実績がありますが、理科センターでは唯一実績があるのは教職員研修の4人です。理化センター、移動図書館、視聴覚ライブラリーで栗島浦村の一般の利用実績が0人なのはニーズがないのでしょうか、或いは対応が足りないのでしょうか。</p>
事務局	<p>栗島浦村の場合は、物理的な問題があり、利用しづらい面があるのではないかと思います。島民が300人強ですので、需要も少ないのではないかと思います。そういうところはあると思いますが、対応できるようにしていきたいと思っております。</p>

委員	<p>例えば、図書館も以前は夏の期間に移動図書館のように出かけて行きました。それから、視聴覚ライブラリーもWEBなどを学校が取り入れているので、利用がないことはないと思います。もっとアピールをしていく必要があると感じていますし、栗島浦村からももっと要望してくれたらいいのになと思っています。</p>
事務局	<p>来年新しい計画策定がありますので、3市村でニーズの掘り起こしも含め、栗島浦村の方も等しくサービスを受けられるよう働きかけ、進めていきたいと思っております。</p>
事務局	<p>先日2月14日の宍戸ゼミの発表の際に、移動図書館車について提案がありました。その中で栗島浦村の議員から発言で、栗島浦村にも移動図書館車が来ていただきたいというご意見がありましたので、担当に伝えていまして、検討の材料になっていると思います。</p>
委員	<p>予算がないと行けません。一泊しないと行けないこともあるようですので、予算を考慮していただければ行くことができると思います。</p>
事務局	<p>移動図書館車が行く必要があるのか、本だけ行けばいいのか、方法もいろいろあるかと思っておりますので、併せて検討させていただきたいと思っております。</p>
委員	<p>この前の3月2日に情報センターで、森林空間利用活用の講演会がありました。その中で森林には「水源涵養機能」「土砂災害防止／土壤保全機能」「地球環境保全」「生物多様性保全機能」「快適環境形態機能」「保健・レクリエーション機能」「文化教育機能」「物質生産機能」の8つの機能があるという説明があり、素晴らしいと思いましたが、この機能を実現するには森林を整備しなければなりません。村上市は新潟県でも有数の森林地帯ですので、森林の整備を今後の共生ビジョンの計画に入れることを提案したいと思っております。令和6年度から森林環境税の課税が始まり、全国民に対して1,000円が課税され、森林の整備等に活用されます。生産者組合や山の所有者に対して整備を促し、環境を整備しなければ8つの機能ができません。</p>
会長	<p>ただ今のご意見は、第三次の共生ビジョンの策定に関わっていますので、事務局の考えを聞かせて下さい。</p>
事務局	<p>セミナーのお話を聞いて重要であると思えました。お話の中で森林施業の関係について、定住自立圏に載せたらどうかのご意見ですが、今現在は新基幹道路東部線の進捗、整備について載せています。これと関連付ける、あるいは別途で載せるかどうかは、次の共生ビジョンで表記できればと思います。また村上市の単独事業ですが、先ほど様々な施業をしていかなければいけない、林業施策を展開しなければならぬことと環境譲与税についてのご意見がありましたので、村上市の情報ですがお話させていただきます。</p> <p>環境譲与税につきましては、来年度6年度から課税になります。令和元年度から3,000万円、5年度だと9,400万円位で、来年度は1億2,000万円入ってくる予定です。それを活用する村上市の令和6年度事業には、森林整備事業があります。森林所有者に対して自分の山をどのようにしていくのかな</p>

事務局	<p>どの意向を把握するためのアンケートや意向調査を行い、その結果内容により、森林の施業内容について市が林業事業体、森林組合や林業事業体に業務委託して管理してもらっており、800万円位を予算計上し環境譲与税で使っています。その他には航空レーザーがあります。セスナを飛ばし、レーザーを当て、木のボリュームや数などを計測し、今後の林業の管理、施業の材料にする取組も行っています。令和5年度はできませんでしたが、令和6、7年度で写真の撮影は終わるのではないかと担当より聞いています。</p> <p>定住自立圏の取組を行うかどうかは別として、世界的に脱炭素の取組が今、注目を浴びていると思います。その中で、森林資源が非常に重要であることから、関川村は脱炭素先行地域として取組を進めています。村上市もゼロカーボンシティとして脱炭素の取組を進めています。その中で、村上市も関川村も木質バイオマスの事業を進める計画がありますが、現在材料の木材確保が課題になっており、一緒に取り組めることがあればと模索中ですが、担当レベルで打ち合せをしています。</p>
委員	<p>例えば人工林の場合、整備しなければ売れないし、環境も良くなりません。一番大事なのは、間伐や枝打ちなどの整備です。昭和50年代に盛んだった村行造林で整備が行われましたが、時代の流れにより10年経ってから全く整備されていません。昭和50年からすでに20~30年以上経っていますので、早くしないとだんだん枝が混んできて、杉林そのものが駄目になってしまいます。そのため、整備事業を早めにお願ひしたいと思います。</p>
事務局	<p>政府全体の取組の中に花粉症の対応パッケージとして、今生えている杉を花粉が少ない杉に植え替えることに対し、国として補助しましょうというものから来年度から始まります。それをすると主伐で補助金を出す仕組みもできるそうですので、そういったところもしっかり活用して参りたいと思っています。村上市内でもそういった区域が設定され、区域内の花粉が少ない杉に植え替えると補助金が出る話があります。その辺りをしっかり林業事業者の方々と今後協議を進めたいと思っています。</p> <p>また、川上から川中川下、全体が動いていかないと木が切れないというお話ですが、昨年9月からいろいろと検討会に出っていますが、やはり売れないものは切れないし、その先の需要がないと厳しいところがありますので、しっかり循環するネットワークづくりを今市としてやっております。引き続き検討会もやって参りますので、ぜひそうした取組をしていただきたいと思っています。</p>
委員	<p>「木を切ってください」というお話がありましたが、さらに先ほどの花粉杉の件で、また追い風のように助成金がつき、環境的に切りやすい方向になっています。しかし、川上から川中、川下までがスムーズに回らなければなりません。現段階で、全国の値段が非常に安く、どんどん下がっています。また、新潟市内の合板会社が火災により、合板材として出荷していた材料が停止しています。一番木材を使用するのは建築住宅ですが、調査によると村上市内の建築件数は前年度約100棟で、今年度は約40棟と半分程度に減少しています。人口が減少していることも一因かもしれませんが、現在、川上の方に補助金が出ており、「木を切れ」と言われています。材価が安いにも関わらず需要がないため、木材が余ってしまい価格の崩落を引き起こしてしま</p>

委員	<p>いすので、伐採したくてもできないのが現状です。さらに、山主も山に興味を失い、力を入れる必要がないと感じてきています。</p> <p>米と同じように国が木材を全部買い取り、製材して工場にストックし、災害時に供給する、または余剰分を輸出するなどの方法を検討してもらう必要があります。地元での使用を促しても材料の量には限界があります。単純に補助金を出すから切りなさいと言われても、その後の処理はどうするのかという問題があります。山を切っても、木材が売れなければ、我々は所有者に対して還元するお金がありません。我々は切る前に必ず、山の所有者と合意形成のもとで作業を行います。支払いができない場合、事業体が逆に倒産してしまうリスクがあります。状況を見ながら、行政からの説明を聞き、我々事業体の本音も伝えて、解決策を見出していかなければならないと思っています。</p> <p>4番と5番について聞きたいと思います。</p> <p>4番のゲートキーパー養成講座ですが、一般市民が41人も受講しているとのことで、市民の中にゲートキーパーが増えていくことは非常に理想的だと思います。ただ受講した方たちが地域の中でどのように活躍する場が提供されているのか、この講座の中で紹介されているのかをお聞きしたいです。</p> <p>もう一つ、うつスクリーニングについてですが、新生児と2か月児の訪問時に保健師が行っているかと思っています。この訪問以降、スクリーニングをできる機会が非常に少なくなってしまうと思います。私はお母さんたちと接する機会が多いのですが、1、2か月というよりも、かなり後になってからうつの症状が出てくる方が多いように感じています。5番の子育て支援センターに、保健師が来所し、子育て中のお母さんたちに対してうつスクリーニングを行う機会を設けてはどうかということをご提案します。</p> <p>それから5番の子育て支援センターについてですが、利用者が令和5年度は少し減ってきているのは少子化で仕方がないと思いますが、相談機能が非常に重要だと感じています。その理由は、子育て支援センターが保護者にとっては子供を遊ばせる場所という認識が強い一方で、相談するという発想があまりないように保護者との会話の中で感じているからです。子育て支援センターは相談できる場所ですというところをもう少しアピールして、しっかりとした相談体制を整えて欲しいです。</p> <p>また、子育て支援センターでは、保育士が相談対応をしていると思いますが、定期的にでも常にでもなくていいですので、この日は保健師、この日はカウンセラーが対応しますという感じで相談日を設けた方が、うつのスクリーニングにも繋がりますし、実は相談したいけどできないお母さん達を拾い上げることが大切だと思いますので、提案になりますがお願いします。</p>
事務局	<p>自殺予防対策推進事業におけるうつスクリーニングの時期が、新生児・2か月児訪問の後に設定されており、その後に悩みが出てくるといふ貴重な問題について、保健師の方にご意見をお伝えしたいと思います。</p> <p>また、LINEで子育て相談ができる事業があり、先生や看護師、助産師などに相談できる体制になっています。LINEで相談するよりも、直接対面して自分の気持ちに寄り添って思いを聞いて欲しい方も当然いらっしゃると思いますので、先ほどご指摘いただきましたスクリーニングの検討や、子育て支援センターで保育士資格を持った者が相談の対応しているところに、保健師が対応する日を設けるというご提案を、担当に伝えたいと思います。</p>

会長	L I N E相談に対応する助産師等の専門職の人達とは、どのような方々がいるのですか。
事務局	L I N E相談ですが、小児科医、助産師など様々な職種の人が相談に応じてくれる民間の会社を医師が設立し、全国の自治体や企業と連携して運営しています。
事務局	先ほど委員からゲートキーパー養成研修の話がありましたが、私が研修会を受講した時には、ゲートキーパーの活躍事例の紹介はありませんでしたが、ゲートキーパーが地域や職場で、この人少し様子がおかしいかなと気づける人が周りにいることが何よりで、周りが気づける環境ができていることが一番だと考えていますので、ぜひ大勢の皆さんに受講していただきたいです。
会長	ゲートキーパーとは、何ををするのですか。
事務局	自殺願望がある方を早く気づいて、支えてあげる、悩みを聞いてあげる。ただ対応を間違えると逆効果になる可能性もありますので、そこは相手に親身になって話を聞いてあげることが大切だと思います。
会長	一般市民が2回講座を受けて、ゲートキーパーとして活動できるということですか。
事務局	普段接しているとあまり気が付かないで何気なく過ごしてることでも、この研修を受けると、そういえばあの人こんなこと言ってたなとか、普段と少し様子が違うかなと気づけるようになるかと思います。
委員	ゲートキーパーという事業は、国が各都道府県に広めている取組で、最後の砦の門として、自殺を防ぐために活動しています。亡くなられた方が月1回訪れていた床屋さんでの出来事がきっかけとなり、その床屋さんや理容組合が自殺予防に関心を持ち、勉強を始めました。同じ職業の人たちが定期的に勉強することが効果的であり、新潟県でも理容組合が取り組んでいます。この研修は、鬱についての理解を深め、気持ちの大切さや相談の重要性を学び、保健師などに繋がっていくことが目的であり、研修を通じて、気持ちを共有し、鬱の人の思いや気づきを伝えることが重要で、皆さんにその意識を持ってもらいたいという取組です。
委員	物産会の事務局をしておりますが、令和5年度は大阪万博に向けて、関西方面で物産展を村上の事業者さん達と一緒に取り組んで開催しましたが、令和6年度についても内容を見ますと、同じような形で開催を計画しているとのことですが、今の時点で分かる範囲で内容をお聞かせいただきたいです。
事務局	来年度の事業についてですが、概ね今年度と同様の活動が展開され、引き続き関西に向けた情報発信や出展を予定していると担当から聞いています。今回の資料に令和6年度のイベントや出展の内容の記載がありませんが、令和5年度は東京の日本橋で村上フェア、大阪で村上観光物産フェア、村上市内でふるさとの観光と大物産まつり、大宮市では新潟県村上フェアを開催し

	<p>ました。</p> <p>村上市は大阪・関西万博の首長連合に所属していますが、正直なところなかなか万博関連のイベント情報がないのが現状です。去年は突発的に物産会にご協力いただき、大阪での物販に参加しましたが、このような情報がなかなか入ってこないのが現状です。また大阪府松原市へ行くか、どこに行くかということも予定できずに困っていますが、万博の前年になりますので、関西圏での事業が確実に一つ二つは出てくると思います。規模はわかりませんが、その際には観光課を通して情報提供していきたいと思います。また内容が煮詰まってくれば、市民にも村上市が万博と一緒に頑張るぞというメッセージを出していけるかと思っています。</p>
会長	<p>岩船米販売促進に関する意見は、どのようなものでしょうか。</p>
委員	<p>事務局からの説明のとおり、令和5年度は高温湯水により、品質と収量が減少している状況です。岩船米は、これまで取引のある卸売業者から好評を得ており、5年産は白濁しておりますが、味には影響がないとPRしています。ただ、先ほど委員からのお話にもあった通り、コストが掛かる分を転嫁できるよう、世論がそれを容認できる状態になれば、生産者も前向きに取り組むことができるのではないかと思います。ただ、すぐに何かできることではないことは重々承知していますので、農協としてもPRしていきたいと考えております。</p>
会長	<p>農協が合併したことによるブランドへの影響はありますか。</p>
委員	<p>岩船米は新潟県で上場されているもので、岩船米と魚沼米、佐渡、そして新潟一般となっており、県で売り出しているブランドですので合併しても変わりません。合併したので新発田まで全部岩船米とはならず、村上、関川とその地域だけという形になっております。</p>
委員	<p>私は、前の自治体にいたときにマイナンバーカードを作りました。前の自治体では、コンビニで住民票を取ることができましたが、粟島浦村では本人あるいは請求する人が直接役場に行くか、郵便請求をしないと住民票等の書類が交付できません。今はマイナンバーカードを持っていて、システムを導入している自治体であれば、どこでも手続きができます。マイナンバーカードを持っている人が享受できるサービスを導入してもらいたい。コンビニ交付のようなサービスを取り入れてほしいと思います。行政情報システムの共同利用に関係ありませんが、要望したいと思っていました。新潟県は全国でも低い交付率であると聞いていますが、粟島浦村は交付率が高いにもかかわらず、享受できるメリットがありません。「しらせあい」アプリをマイナンバーカードに紐づけして乗船手続きができることは一つのメリットだと思います。</p>
事務局	<p>委員のおっしゃる通り、マイナンバーカードの交付率は100%を切っていますが、使用できる場所がありません。新しいシステムの導入には予算計上しなければなりません、予算の関係上、サービスができない状況です。</p>

会長	このあたりで令和5年度取組実績（見込）及び令和6年度取組内容（案）についての議事は終わりましたので、続いて議事（2）第3次村上岩船定住自立圏共生ビジョンの策定について事務局より説明をお願いします。
事務局	3. 報告（2）第3次村上岩船定住自立圏共生ビジョンの策定【資料3】 （事務局が資料を説明）
会長	令和6年度は新しいビジョンの策定ということですが、定住自立圏共生ビジョンに関連して国から交付金は、各市村にどのくらい入ってきますか。
事務局	特別交付税措置で村上市が8,500万円、関川村、粟島浦村が1,800万円前後です。
会長	それでは、予定の時間になりましたので議事を終えたいと思います。これで進行を事務局の方にお返しします。
事務局	6. その他 〈事務局より事務連絡〉
事務局	7. 閉会 以上をもちまして、令和5年度第2回村上岩船定住自立圏共生ビジョン審議会を終了します。本日は大変ありがとうございました。